

## 4年—Unit 5 単元名 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう

## 1. 単元目標

- ・文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。(学びに向かう力, 人間性等)

## 2. 言語材料

- Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.
- have, 身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar), 状態・気持ち (short)
- [既出] 挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. What day is it? It's (Monday). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? I like (soccer). (The "A" card), please. How many (apples)? Ten (apples). 状態・気持ち (big, small, long, short), 形, 色, スポーツ, 動物, 飲食物, 数, 身の回りの物 (pencil, eraser, ruler, crayon), 数 (1~60)

## 3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

## 4. 単元計画 (4時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】 , ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○チャンツ <b>What time is it?</b> (Unit 4)</p> <p>○何かな, 予想しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の質問に答えたり, 持っている物を数えたりする。</li> </ul> <p>○誌面を見てどのような物があるかを発表し, 文房具の言い方を知る。</p> <p>○指導者の話を聞いて, 単元の見通しをもつ。</p> <p><b>【Let's Watch and Think 1】</b> p.18</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文房具の言い方を知り, その数を数える。</li> </ul> <p><b>【Let's Play 1】 I spy</b> ゲーム p.19</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者のヒントを聞いて, 自分の持ち物から該当するものを探して言う。</li> <li>・指導者の質問に答える。</li> </ul> <p>(OBINGO ゲーム)</p> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p>	◎文房具などの学校で使う物を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○OBINGO ゲーム</p> <p>○カード・デスティニー・ゲーム</p> <p><b>【Let's Chant】 Do you have a pen?</b> p.19</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで, 自分の立場で答える形でチャンツを言う。</li> </ul>	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。<行動観察・振り返りカード点検>

	<p><b>【Let's Listen】</b> p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。</li> <li>・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。</li> </ul> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p>	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。	
	<p><b>【Let's Chant】 Do you have a pen?</b> p.19</p> <p><b>【Let's Watch and Think 2】</b> p.20</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の子供たちがかばんの中にもっている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。</li> </ul> <p><b>【Let's Play 2】</b> p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの1人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。</li> </ul> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p>	◎文房具などの学校で使う物を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	
	<p><b>【Let's Chant】 Do you have a pen?</b> p.19</p> <p><b>【Activity】 文房具セットをおくろう</b> p.21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人のために文房具セットを作る。</li> <li>・誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介する。</li> </ul> <p>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</p>	◎相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。〈行動観察・振り返りカード点検〉

## 4年 Unit 5—Lesson 1 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 1/4 時間

目 標 文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト、かばん、さまざまな文房具など、教師用カード（文房具）、児童用カード（文房具）、ワークシート（Unit 1-2：ビンゴシート）、文房具セット（ワークシート Unit 5-1, 5-2 を切り取って作成）、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
1分	○チャンツ What time is it? (Unit 4)	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
12分	○何かな、予想しよう。 ・指導者の質問に答えたり、自分の持っているものを数えたりする。  ○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し、文房具の言い方を知る。  ○指導者の話を聞いて、単元の見通しをもつ。	・指導者はあらかじめ、かばんの中に筆箱、ノート、本、教科書、ホッチキス、マグネット、カレンダー、ハンカチ、時計、鍵などを入れておき、児童に中に何が入っているかと思うかと問いかけ、児童の答えやつぶやきに感じながら、それらをかばんから1つずつ出して、紹介していく。また、筆箱の中に入っている物についても紹介する。 ・鉛筆などは複数入れておき、児童にその束を見せ、何本あるかを予想させてから、児童と一緒に数える。一方的に話すのではなく Do you have pencils in your desk / bag / pencil case / pocket? How many pencils? Let's count together. などと尋ねたり声をかけたりして児童とやり取りをしながら進める。 ・児童用テキスト p.18, 19 を開かせ、誌面の文房具の中で自分の持っている物はないか尋ねるなどして、児童の興味を高める。また、児童の答えやつぶやきにに応じて、誌面にある文房具の言い方を紹介する。その際、デジタル教材で音声聞かせてもよい。 ・指導者があらかじめ校内のある先生などのために作成しておいた文房具セットを理由とともに紹介する。また、本単元終末には、このようにみんなもある人のために文房具セットを作ることを告げ、単元の見通しをもたせるようにする。	かばん さまざまな文房具など  デジタル教材 児童用テキスト  文房具セット (ワークシート Unit 5-1, 5-2 を切り取って作成)
<p>T : Look. This is for ○○ sensei. I have three blue pencils. One eraser. I have a blue ruler. I have a blue stapler. Two notebooks. One blue marker. ○○ sensei likes blue.</p>			
		(ここで三人称を使っているが、このことに関して説明したり、児童にその言い方を教えたりする必要はない。児童がどうして指導者がそのような文房具セットにしたのかという理由＝「内容」に注目させる。)	
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.18 ・文房具の言い方を知り、その数を数える。	・映像内容は、2人の子供がお店屋さんごっこをしている場面4種類である。 ・まずデジタル画面で誌面 p.18, 19 を映し、文房具の言い方を確認し、それがいくつあるかと尋ねたうえで映像を見せることで、映像への興味を高める。	デジタル教材

	<p>① A : Welcome to my shop. I have notebooks, calendars, staplers and pencil cases. B : Wonderful. How many notebooks? A : Well, let's count together. One, two, three, four, five, six. Six notebooks!</p> <p>② A : Here is my shop. I have some markers, pencil sharpeners and staplers. B : Pretty. How many markers? A : One, two, three, four, five, six, seven. Yes, I have seven markers and I have six colors.</p> <p>③ A : This is my shop. Welcome. I have pencils, erasers, glue sticks and pens. B : Wow! How many erasers? A : One, two, three, four, five, six, seven, eight. Eight erasers.</p> <p>④ A : Come on in! This is my shop. I have some pencil cases, magnets, notebooks and markers. B : Great. How many magnets? A : One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine. Nine magnets.</p>		
15分	<p><b>[Let's Play 1] I spy ゲーム p.19</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者のヒントを聞いて、自分の持ち物から該当するものを探して言う。</li> <li>・指導者の質問に答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の持ち物を見せながら、児童の持ち物から同じものを探させる。Do you have a pencil? Where is it? (片手を目の上にかざして、探しているジェスチャーをしながら) さまざまな文房具で行い、児童の身の回りにある文房具を確認させようで行う。</li> </ul>	<p>さまざまな文房具など 教師用カード (文房具)</p>
	<p><b>I spy ゲームの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は、誌面の文房具や教室にある物を1つ選び、その色や形状を I spy with my little eye ... something blue. などと言い、各児童はそれをヒントに該当する物を答える。指導者が選んだ物を言い当てれば、1ポイントもらえる。</li> <li>・児童の実態に応じて、個人やペア、グループで行う。</li> <li>・単に見つけて言い当てれば終わりではなく、言い当てれば、その文房具について児童とやり取りを行うようにする。ここでは、文房具を題材に児童とやり取りをすることがねらい。</li> </ul> <p>〈やり取りの例〉</p> <p>T : I spy with my little eye ... something blue. S1: (A) Pencil. S2: (A) Pencil case. T : Great. Show me. A blue pencil. A blue pencil case. Very good. S2, do you like blue? S1, how many pencils do you have? Five? Everyone, how many pencils do you have? Let's count together.</p>		
		<p>◎文房具などの学校で使う物を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
	<p><b>(OBINGO ゲーム)</b></p> <p><b>BINGO ゲームの進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各児童はビンゴシート (ワークシート Unit 1-2) のマスに、児童用カード (文房具) の10種類のうち9種類を並べる。</li> <li>・指導者が Do you have ~ (文房具)? と尋ね、児童は Yes, I do. / No, I don't. と答えながら、その文房具の絵カードがあれば裏返す。縦、横、斜めのどれか1列がそろえばビンゴとなる。慣れてきたら代表児童や指名した児童が指導者の代わりに言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間があれば、ビンゴゲームをする。</li> </ul>	<p>教師用カード (文房具) 児童用カード (文房具) ワークシート (Unit 1-2 : ビンゴシート)</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</li> <li>○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2)</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。</li> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>振り返りカード デジタル教材</p>

## 4年 Unit 5—Lesson 2 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 2/4時間

目 標 文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準 備 児童用テキスト、教師用カード(文房具)、児童用カード(文房具)、ワークシート(Unit 1-2:ビンゴシート, Unit 5-1, 5-2)、デジタル教材、振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
8分	<b>OBINGO ゲーム</b>  BINGO ゲームの進め方 ・各児童はビンゴシートワークシート (Unit 1-2) のマスに、児童用カード (文房具) を並べる。 ・指導者が Do you have ~ (文房具)? と尋ね、児童は Yes, I do. / No, I don't. と答えながら、その文房具の絵カードがあれば裏返す。縦、横、斜めのどれか1列がそろえばビンゴとなる。慣れてきたら代表児童や指名した児童が指導者の代わりに言う。	・前時と同様に行う。	教師用カード (文房具) 児童用カード (文房具) ワークシート (Unit 1-2:ビンゴシート)
12分	<b>○カード・デスティニー・ゲーム</b>  カード・デスティニー・ゲームの進め方 ・児童は、自分の筆箱の中に入れてたいものを、9種類の児童用絵カードから5種類選んでもつように言う。 ・指導者は、Do you have ~ (文房具)? と児童に尋ねる。その文房具の絵カードをもっている児童は、そのカードを机に出す。5枚すべてのカードがなくなったらあがり。 〈やり取りの例〉 T : Do you have a pencil? S1, 2, 3: Yes, I do. (机に鉛筆絵カードを出す) T : Good. Next, do you have a marker? S4 : Yes, I do. (机にマーカーの絵カードを出す) S1, 2, 3: No, I don't. T : Only S4? Good.	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用カード (文房具)
4分	<b>【Let's Chant】 Do you have a pen?</b> p.19 ・ペアで、自分の立場で答える形でチャンツを言う。  Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!	・まず、最初は数回聞かせ、ペアで1人が質問し、もう1人が答えるという形でチャンツを言わせる。答える側は、自分が前活動で選んだ文房具品についての自分の立場で答えて言うよう指示する。	デジタル教材 前活動で使ったカード (文房具)
14分	<b>【Let's Listen】 p.20</b> ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問	・登場人物の文房具の数や色に注意して聞くように伝えるなど、聞こうとする意欲を高めるようにする。 ・児童の実態に応じて、誌面の4種類の筆箱の中の文房具を確認してから、音声を聞かせるとよい。	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>に答えたり、ペアでやり取りしたりする。</p>	<p>・聞いて終わりにせず、筆箱の中身を題材に児童とやり取りをする。やり取りをしながら、文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませ、児童自ら I have ~. というよう促す。</p>	
<p>Sayo : Hi, everyone. I'm Sayo. Please find my pencil case. I have one eraser, one ruler, two pencils and two pens, red and blue. Can you find my pencil case? (解答 No.2)</p> <p>Takeru: Hi, I'm Takeru. Please find my pencil case. I have one eraser, one pencil and three pens, red, yellow and purple. Can you find my pencil case? (解答 No.3)</p> <p>Hinata: Hello, everyone. I'm Hinata. Please find my pencil case. I have one ruler, one glue stick, two pencils and two pens, red and pink. Can you find my pencil case? (解答 No.4)</p> <p>Robert: Hi, I'm Robert. Please find my pencil case. I have one eraser and four pencils. Two pencils are red and yellow. Can you find my pencil case? (解答 No.1)</p>			
<p>やり取りの例</p> <p>T : What do you have in your pencil case? Ss : Pencil. T : Pencil? I have pencils, too. Look. I have two pencils. How many pencils do you have? S1: Five. T : You have five pencils. I have two pencils. S2, how many pencils do you have? S2: Three. T : Good. You have three pencils. I have two pencils. S3, how about you? S3: I have three pencils. T : Very good. You have three pencils. ・ペアで持っているものについて尋ね合うよう言う。 S1: Do you have ~? S2: Yes, I do. Do you have ~? S1: No, I don't.</p>			
<p>◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>			
5分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ○歌 <b>Goodbye Song</b> (3年 Unit 2) ・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード  デジタル教材</p>

4年 Unit 5—Lesson 3	Do you have a pen?	おすすめの文房具セットをつくろう	3/4時間
目 標 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。			
準 備 児童用テキスト、教師用カード (文房具)、児童用カード (文房具)、デジタル教材、振り返りカード			

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
2分	<b>【Let's Chant】 Do you have a pen?</b> p.19	・児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             Do you have a pen? Yes, I do.              Do you have an eraser? No, I don't.              Do you have a pencil case? Yes, I do.              Do you have an eraser? No, I don't.              Do you have a ruler? Yes, I do.              Do you have an eraser? No, I don't.              Do you have a pen? Yes, I do.              Do you have an eraser? No, I don't.              Do you have a stapler? Yes, I do.              Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!           </div>	デジタル教材
10分	<b>【Let's Watch and Think 2】 p.20</b> ・世界の子供たちがかばんの中にもっている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。	・世界の子供たちのかばんの中身を予想させ、興味を高めてから映像を見せる。 ・視聴後、映像で子供たちがかばんにもっているかどうかを児童に尋ね、持ち物についてのやり取りをして、次の活動につなげるようにする。 ・映像資料で紹介される世界の子供たちのかばんの中には、教科書が入っていない。世界では、教科書を学校に置いておく場合が多いが、相違点や共通点、気付いたことなどを発表させる。	デジタル教材 児童用テキスト
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ① Hi, this is my bag. I have a banana. I have an apple. I have sandals, too. I don't have textbooks in my bag. (スウェーデン)            ② Hello! This is my bag. I have indoor shoes. I have a water bottle. I have color pencils. I have a toothbrush. I don't have textbooks in my bag. (韓国)            ③ Hi. This is my bag. I have a sandwich, a water bottle and an apple. I also have a folder with my homework. I don't have textbooks in my bag. (アメリカ)         </div>	
24分	<b>【Let's Play 2】 p.21</b> ・ペアの1人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。	・ペアになり、相手に質問をして同じ文房具セットを作ることを告げる。代表児童とデモンストレーションをして、進め方を理解させる。	児童用テキスト 教師用カード (文房具) 児童用カード (文房具)
	<b>進め方</b> ・ペア (AとB) になり、まずAがどんな文房具セットにしたいかを考えて、誌面に児童用絵カード (文房具) を並べておく。その文房具セットはBに見えないようにしておく。Bは、Aに文房具について <b>Do you have ~?</b> と尋ね、Aの答えに応じて、文具カードを自身の誌面において、Aと同じ文具セットを作る。作り終わった後、AとBの文具セットが同じかを確認する。相手を替えて繰り返す。	◎文房具などの学校で使う物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	

5分	・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 <b>Goodbye Song</b> （3年 Unit 2） ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材



4年 Unit 5—Lesson 4	Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう	4/4 時間
目 標	相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。	
準 備	児童用テキスト、文房具セット（第1時に使用）、ワークシート（Unit 5-1, 5-2）から切り取った文房具のカード、紙、デジタル教材、振り返りカード	

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶をする。	
3分	<p><b>【Let's Chant】 Do you have a pen?</b> p.19</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!</p> </div>	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
33分	<p><b>【Activity】 文房具セットをおくろ</b> <b>う。</b> p.21</p> <p>・身近な人のために文房具セットを作る。</p> <p>・誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介する。理由が複雑な場合は、日本語で紹介する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>紹介例</b></p> <p>This is for S1. I have two red pencils. I have one blue stapler. I have one light blue notebook. One marker. One red marker. One glue stick. One eraser. S1 は物を作るのが好きなので、いろいろな文房具を入れました。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身近の人のために文房具セットを作る。</li> <li>・お店屋さんごっこの要領で、文房具品を渡す側ともらう側に分かれる。</li> <li>・Do you have ~? Yes, I do. Here you are. / No, I don't. Sorry. でやり取りをして必要なものを集める。</li> <li>・紙に集めた絵カードを貼って、文房具セットを完成させる。</li> <li>・グループ内で、誰のためにどのような文房具セットを作ったかを紹介する。</li> <li>・代表児童が、みんなの前で誰のためにどのような文房具セットを作ったかを紹介する。</li> </ul> </div>	<p>・誰かのために文房具セットを作ることを告げ、第1時で指導者が紹介した〇〇先生のために作成した文房具セットを理由とともに再度紹介する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>T : Look. This is for 〇〇 <i>sensei</i>. I have three blue pencils. One eraser. I have a blue ruler. I have a blue stapler. Two notebooks. One blue marker. 〇〇 <i>sensei</i> likes blue.</p> </div> <p>・ALT 等がいれば、カードの集め方のデモンストレーションをする。ALT 等がいなければ代表児童とやってみせ、理解させるようにする。</p> <p>・文房具カードの文房具にはすでに色がついているが、児童の自由な発想をいかすため、その上に重ねて色を塗らせてもよい。</p>	<p>児童用テキスト 文房具セット （第1時に使用） ワークシート （Unit 5-1, 5-2） から切り取った 文房具のカード 多数 紙</p>
		◎相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	<p>○歌 <b>Goodbye Song</b>（3年 Unit 2）</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。</p> <p>・挨拶をする。</p>	デジタル教材